

I 平成29年度当初予算の主な施策

1 子ども・子育て世代への支援の充実

- 喫緊の課題である保育の基盤整備については、保育士の加配や保育所の整備等に対する県単独の補助など、施設数や児童数の増加に応じて予算を増額するほか、保育士の確保に向け、ちば保育士・保育所支援センターのコーディネーターを増員し、機能の拡充を図ります。
- 児童虐待対策については、児童相談所における24時間365日の電話相談などに加え、児童福祉司等の増員や、中央児童相談所の移転に向けた実施設計を行います。また、児童養護施設等の入所者が退所後の自立を図るための支援事業を新たに実施します。
- 児童生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりを進めるため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員するなど、学校におけるいじめ対応力の強化を図ります。また、小中学校で放課後学習の支援などを行う学習サポーターを増員し、学力向上に取り組めます。
- なお、私立学校経常費補助については、当初予算では6月交付に必要な額を計上し、その後の交付分については、6月補正予算において対応する予定です。

・保育士配置改善事業	447,000千円（19頁）
・保育士人材確保等事業	36,910千円（19頁）
・保育所整備促進事業	1,000,000千円（20頁）
・子ども医療費助成事業	6,700,000千円（21頁）
・児童虐待防止対策事業	255,183千円（22頁）
・中央児童相談所機能拡充移転事業	34,760千円（23頁）
・学校におけるいじめ防止対策の推進	808,292千円（24頁）
・ちばっ子「学力向上」総合プランの推進	171,959千円（25頁）
・私立学校経常費補助（一般補助）	11,985,709千円（28頁）

2 医療・福祉の充実

- 地域医療を支える医師・看護師を確保するため、将来、県内での就業を目指す学生に修学資金の貸付を行うほか、大学医学部や看護師養成学校の設置に対する助成などを実施します。
- 救急医療体制の充実のため、新たに帝京大学ちば総合医療センターを救命救急センターに指定することとし、救命救急センター運営費補助の予算を増額します。また、病院事業会計において、救急医療センター・精神科医療センター等の建替えに向けた基本設計を行います。
- 本年4月からの「千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例」の施行を踏まえ、県立学校において実習を行うなど、AEDや心肺蘇生法の普及啓発に取り組みます。
- 介護基盤の整備については、特別養護老人ホーム等に対する全国トップクラスの補助単価を継続して整備の促進を図るほか、施設開設予定数の増加に応じ、開設準備経費に対する助成を大幅に増額します。

また、不足している介護人材を確保するため、介護の職場への新規就業や潜在有資格者の再就業、介護職員のキャリアアップに向けた支援を強化します。

・医師確保関係事業	763,242千円（31頁）
・保健師等修学資金貸付事業	317,125千円（32頁）
・医学部設置支援事業	1,100,000千円（32頁）
・看護師養成学校整備促進事業	1,041,485千円（33頁）
・救命救急センター運営費補助、施設設備整備費補助	951,562千円（33頁）
・救急医療センター・精神科医療センター等整備事業	185,000千円（33頁）
・AED等普及促進事業【新規】	10,000千円（39頁）
・老人福祉施設整備事業補助	6,222,000千円（42頁）
・介護基盤整備交付金事業	1,901,250千円（42頁）
・特別養護老人ホーム等の開設準備支援等事業	2,064,977千円（42頁）
・介護人材確保対策事業	188,000千円（43頁）

3 暮らしの安全・安心の確立

- 地域防災力の更なる向上のため、消防学校・防災研修センターの建設について、平成31年度の供用開始に向けて工事を本格化させます。また、東日本大震災により大きな被害を受けた香取合同庁舎や、耐震性の向上が必要な衛生研究所について、年度内の工事完了に向けて整備を進めます。
- 首都直下地震などの大規模地震に備え、警察署や鉄道施設の耐震化、県立学校における屋内運動場等の天井落下防止対策に係る予算を増額し、対策を進めます。
- 防犯ボックスについては、これまでの運用の結果、地域防犯力の向上に大きな効果が見られたため、設置箇所を増加します。また、現在、白井市が整備を進めている市役所新庁舎の一部に、印西警察署の分庁舎を設置します。
- 本年4月の「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の施行を踏まえ、自転車交通安全教室や、中高生等を対象とした自転車の安全利用に関する啓発を拡充して実施します。

・消防学校・防災研修センター整備事業	4,174,527千円（53頁）
・衛生研究所施設整備事業	5,172,011千円（58頁）
・香取合同庁舎再整備事業	1,786,000千円（58頁）
・警察署等耐震改修整備事業	139,000千円（59頁）
・鉄道施設耐震対策事業補助	595,525千円（59頁）
・県立学校における安全対策	1,496,000千円（60頁）
・防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業	81,340千円（65頁）
・（仮称）印西警察署白井分庁舎の設置【新規】	9,449千円（66頁）
・自転車安全利用推進・教育事業	35,500千円（67頁）

4 商工業の振興・雇用

- 県内中小企業の振興のため、今後、市場拡大が見込まれる健康・医療分野における県内企業の参入や共同研究を促進します。また、県内の中小企業が大都市圏のプロフェッショナル人材を活用して経営改善を図る取組や、県内の大学等と連携して学生の就職・地元定着を図る取組を支援します。
- 茂原にいはる工業団地及び袖ヶ浦椎の森工業団地について、平成29年度中の造成完了と分譲開始に向けた整備を進めます。
- ジョブカフェちば、千葉県ジョブサポートセンターにおいて、求職中の若者や中高年齢者、子育て中の女性などへきめ細かな就職支援を行います。また、障害者の雇用拡大を図るため、就労希望者への訓練や、障害者雇用に取り組む企業とのマッチング、就労後のフォローアップ支援等を実施します。

・地域連携による健康・医療ものづくり推進事業	66,700千円（68頁）
・プロフェッショナル人材戦略拠点事業	49,800千円（68頁）
・中小企業人材採用サポート事業	20,000千円（69頁）
・特別会計工業団地整備事業	1,762,000千円（71頁）
・ジョブカフェちば事業	139,082千円（72頁）
・千葉県ジョブサポートセンター事業	35,258千円（72頁）
・障害者雇用サポート事業	35,000千円（73頁）

5 農林水産業の振興と社会基盤づくり

- 担い手への農地集積を進め、経営の大規模化による生産性の向上を図るため、農地中間管理機構の体制を強化するほか、畜産農家や園芸農家などが経営効率化のために行う施設・設備整備に対し助成します。
- イノシシ等の有害鳥獣による農業被害等を防止するため、防護柵や捕獲機材の設置・購入や有害鳥獣捕獲への助成について、市町村の要望に合わせて予算額を増額します。また、今後の効果的な対策に資するため、生息状況の詳細な調査を行います。
- 地域水産業の競争力強化を図るため、漁業協同組合等が収益向上のために行う共同加工施設等の整備に対し、助成を行います。
- なお、道路ネットワークや河川・海岸・砂防施設、交通安全施設などの整備については、継続事業や、工程上、年度当初から着手が必要な事業を計上しています。

・農地集積加速化促進事業	440,000千円（74頁）
・千葉県農産産地パワーアップ事業	202,000千円（78頁）
・畜産競争力強化対策整備事業	954,000千円（79頁）
・新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業	300,000千円（81頁）
・園芸産地競争力強化総合対策事業	919,000千円（81頁）
・イノシシ等有害獣被害防止対策事業	259,000千円（83頁）
・野生鳥獣総合対策事業	328,700千円（84頁）
・浜の活力再生プラン推進支援事業	209,379千円（87頁）
・道路ネットワーク事業	40,447,451千円（89頁）
・河川・海岸・砂防事業	10,595,009千円（90頁）
・交通安全施設整備事業	4,057,330千円（91頁）

6 千葉の魅力発信

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、本県開催競技の普及・振興や、本県を訪れる観光客へのおもてなし力向上のための取組、本県出身アスリートの強化・支援事業などを実施します。

また、競技会場となる幕張メッセについて、老朽化への対応や、大会後も見据えた施設の機能強化を図るため、計画的に大規模改修を実施するほか、サーフィン会場となることが決定した一宮町の釣ヶ崎海岸地区において、環境調査などを行います。

さらに、キャンプ地としての利用が見込まれる総合スポーツセンターについて、野球場の耐震改修の実施設計を行うほか、武道館の空調設備の整備を行います。

- 本県の魅力向上と国内外への魅力発信を図るため、観光プロモーションや、観光地のトイレ・案内所等の整備に対する助成、県立施設のトイレ改修、訪日教育旅行の誘致などを行います。
- 県産農林水産物の販売促進に向け、県産品フェアの開催や、輸出拡大に取り組む生産者への支援などを実施します。

・オリンピック・パラリンピック普及・教育推進事業	17,000千円（94頁）
・東京オリンピック・パラリンピックに向けた受入体制の整備事業	12,000千円（95頁）
・東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業	115,000千円（95頁）
・幕張メッセ大規模改修事業	798,300千円（96頁）
・県立九十九里自然公園整備事業【新規】	13,850千円（96頁）
・総合スポーツセンター野球場耐震・大規模改修事業	70,000千円（96頁）
・総合スポーツセンター武道館空調設備整備事業	150,000千円（97頁）
・観光プロモーション事業	81,825千円（100頁）
・観光地魅力アップ整備事業	300,000千円（99頁）
・県立施設トイレ改修事業	134,470千円（103頁）
・訪日教育旅行誘致事業	34,986千円（105頁）
・県産農林水産物魅力発信事業	31,020千円（102頁）
・「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業	35,250千円（105頁）

7 環境・文化施策の推進

- 生態系への影響や農業被害を及ぼすおそれのある特定外来生物について、対策を強化し、捕獲数を増やします。
- 県民が千葉の文化に親しみ、ふるさと千葉の魅力を再発見できるよう、国・県指定文化財の保存整備や修理等への助成を増額するほか、「県民の日」事業や、千葉交響楽団、千葉県少年少女オーケストラへの助成などを引き続き実施します。

また、千葉県立美術館において、平成29年度は立体造形芸術をテーマとした特別展を開催します。

・外来種特別対策事業	67,500千円（109頁）
・文化財保存整備助成事業	42,825千円（110頁）
・「県民の日」事業	60,000千円（110頁）
・千葉交響楽団関連事業	68,319千円（111頁）
・千葉県少年少女オーケストラ育成事業	36,734千円（111頁）
・千葉県立美術館特別展の開催	15,328千円（111頁）

